

キャラクター名
久遠 梓(くおん あずさ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ウロボロス		ワークス	FHチルドレンC	カヴァー	FHチルドレン
	オプション		年齢	15くらい???	性別	女
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	36	%
出自	天涯孤独	経験	伝説	邂逅	喪失	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	3		0			3	行動値	6
感覚	1		0			1	(非装備時)	6
精神	3	1	0			4	戦闘移動	11
社会	1		0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4	3	交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	
コネ:手配師	
刻銘<インスクリプション>	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
変異種:サラマンダー	P	N		
同僚の少女 シミター	P	庇護	N	不安
スミス	P	純愛	N	疎外感
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コキュートス	3	4	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	Dロイス	
効果: 攻撃力+[Lv*3]の射撃攻撃、判定-2D、シナリオ3回								
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー					
効果: C値-[Lv]								
螺旋の悪魔	5	3	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 暴走する、ラウンド間攻撃力+[Lv*3]								
極限暴走	1		常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 侵蝕率基本値+3								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果: シーン間、判定+[Lv*2]D								
飢えし影	1	1	メジャー	視界		対決		
効果: 攻撃力+[Lv+2]の射撃攻撃								
原初の黒:完全なる世界	3	7	メジャー			対決	100	
効果: 判定+[Lv+1]D、攻撃力+[Lv*3]								
マクスウェルの悪魔	3	5	オート	視界	単体	自動	120、妄想	
効果: 自身の攻撃のダメージが自身への攻撃のダメージを+or-[Lv+2]D								
崩壊のヘリックス	3	3	メジャー			対決	リミット	
効果: 螺旋の悪魔の効果中のみ使用可、攻撃力+[Lv*5]、シナリオ1回								
温度調節	★							
効果:								
消去の号令	★							
効果:								
効果:								
効果:								

刻銘<インスクリプション>の設定はHRのP97を参照のこと

刻銘<インスクリプション>、FHの強化措置実験体である彼らには、強化措置が完了した時点でコードネームとして剣の銘が与えられる。その多くは、レイピア、ファルシオン、カトラス、と言ったありふれた剣の銘を与えられるが、極稀に神話伝承に登場する《魔剣》の銘を与えられる者がいる。彼女もそんな《魔剣》の一振りだ。

《魔剣》の銘を与えられた者は他の刻銘<インスクリプション>の実験体の中でも頭一つ抜けた性能を示した者だ。彼女もその例に漏れず、凶悪といつて良い能力を有している。

元は変異種サラマンダーのピュアブリードであったが、強化措置の結果、新たにウロボロスのシンドロームに覚醒している。サラマンダーとして炎や氷を操るのではなく、それらを生み出す過程である熱量操作に高い適性を持つ変異種のレネゲイドと、ウロボロスの特性の内、喰らうという特性に特化したレネゲイドを併せ持つ彼女が操るのは、周囲のあらゆる全てを喰らい尽くす暴食の霧だ。その性質上、広範囲殲滅を得意とし、ある時は小規模とはいえ、UGNの支部を丸ごと一つ喰らったこともあるほどで、FH内部でもその名が知られている。普段はごく普通の年相応の少女にしか見えないが、戦闘に入った途端、ガラリとその様相を一変させる。冷徹、冷酷、一切の容赦なく、躊躇なく、全てを喰らい尽くすその様は正しく《魔剣》の如し。

「ん?どうしたんだい、こんな時間に?」

「は?与えられた銘に気が食わない?いや、そんなことを言っても、君たちに与えられるのは剣の銘だ。可愛いとか、そういうのとは無縁だってことはわかっていたことだろう?」

「それにだって物騒すぎるって?まあ確かに、君に与えられたのは呪われた人喰いの《魔剣》の銘だ。物騒って言うなら、確かに物騒すぎるほどだけだね」